

資料2 子どもの医療費の無料化拡大に関して

表2 「医療費膨張」にはならない

自治体	助成内容	こども医療費助成による医療費や受診回数の変化
群馬県	15歳まで外来・入院の窓口負担無料 (所得制限なし)	「救急医療への過度な依存や時間外診療の増加が懸念されたが、国保診療分の時間外受診件数を検証したところ、拡大前の92.7%となり減少」(2012年県議会・国保援護課長)
福島県	18歳まで外来・入院の窓口負担無料 (所得制限なし)	「平成23年の震災後、24年10月から無料化ということをやっているのですが、23、24、25、26、27年度までデータをとりまして、1件当たりの費用、これは医科・歯科それぞれ同じような傾向なのですが、増えておりません」(2016年社保審医療保険部会・遠藤秀樹日本歯科医師会常務理事)
岐阜県大垣市	18歳まで外来・入院の窓口負担無料 (所得制限なし)	導入前2011年度のこども医療費は約7.9億円、導入後の2012年度は約8.7億円(10%増)となっているが、対象人数の伸び(2万2,818人から2万6,875人(17%増))よりも低くなっている。